



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社シンクロ・フード 上場取引所 東  
コード番号 3963 URL <https://www.synchro-food.co.jp/>  
代表者（役職名）代表取締役兼執行役員社長（氏名）藤代 真一  
兼 事業部長  
問合せ先責任者（役職名）取締役兼執行役員管理部長（氏名）森田 勝樹 (TEL) 03-5768-9522  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,967	13.0	585	24.4	586	24.7	394	22.5
2024年3月期中間期	1,741	27.7	471	16.7	470	15.8	321	18.0

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 393百万円(21.8%) 2024年3月期中間期 323百万円(18.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	14.65	14.65
2024年3月期中間期	12.06	12.03

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	5,286	4,488	84.9
2024年3月期	5,069	4,291	84.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,488百万円 2024年3月期 4,290百万円

(注) 2025年3月期中間期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期(予想)			—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年3月期の配当予想額については未定であります。

3. 2024年3月期の期末配当金の内訳(普通配当 5円00銭 記念配当 5円00銭)

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	16.6	1,260	21.4	1,260	21.6	882	25.3	32.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	27,123,000株	2024年3月期	27,003,000株
2025年3月期中間期	164,542株	2024年3月期	198,733株
2025年3月期中間期	26,909,627株	2024年3月期中間期	26,693,210株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結貸借対照表関係)	9
(中間連結損益計算書関係)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	12
(収益認識関係)	12

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、緩やかな景気回復基調が持続しているものの、物価上昇や地政学リスク等の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、「多様な飲食体験から生まれるしあわせを、日本中に、そして世界へと広げる。」をビジョンとして、新中期経営計画の完遂と、非連続成長に向けた取組みの継続、の2点を経営方針に掲げ、事業を推進してまいりました。

以上の結果、当社グループの当中間連結会計期間の業績は、売上高は1,967,169千円(前年同期比13.0%増)、営業利益は585,959千円(同24.4%増)、経常利益は586,352千円(同24.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は394,378千円(同22.5%増)となりました。

サービス別の売上高の内訳は、運営サービス1,527,753千円(同6.7%増)、出退店サービス301,812千円(同48.0%増)、その他サービス137,603千円(同31.2%増)であります。

なお、当中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度との比較・分析にあたっては暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### (メディアプラットフォーム事業)

当事業は、「飲食店ドットコム」をはじめとした飲食店向けのサービス、及び「飲食店ドットコム」に対してサービス提供する不動産事業者や食材仕入事業者等の関連事業者向けのサービスによって構成されております。

「飲食店ドットコム」においては、出店開業、改装、業態変更等の動きが堅調に推移し、2024年9月末時点における登録ユーザー数が306,053件(前年同期比10.0%増)と順調に増加しております。

また、「飲食店ドットコム」に対してサービス提供する不動産事業者や内装事業者等の関連事業者については、5,057社(同2.8%増)と順調に増加しております(注)。

以上の結果、メディアプラットフォーム事業の売上高は1,789,022千円(同7.9%増)、セグメント利益は524,696千円(同8.7%増)となりました。

#### (M&A仲介事業)

当事業は、飲食店の事業譲渡や株式譲渡等のM&A仲介、及び飲食店が設備等を残置したまま退去する居抜き譲渡のサポートサービスによって構成されております。

M&A仲介・居抜き譲渡ともに、高水準の売却相談件数を維持し、案件規模によって成約進捗にばらつきが見られたものの、売上高は伸長しました。

以上の結果、M&A仲介事業の売上高は178,153千円(同113.1%増)、セグメント利益は53,302千円(前年同期は12,244千円のセグメント損失)となりました。

(注) 2024年9月30日時点において、不動産事業者、内装事業者、食材仕入事業者として登録している事業者数を記載しております。(内装建築.comに登録している内装事業者数は除く)

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態

#### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は4,684,400千円となり、前連結会計年度末に比べて273,217千円増加しました。主な増加要因は、売上増加による現金及び預金の増加(前連結会計年度末比225,552千円増)であります。固定資産は602,027千円となり、前連結会計年度末に比べて56,726千円減少しました。以上の結果、総資産は5,286,427千円(同216,490千円増)となりました。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は765,883千円となり、前連結会計年度末に比べて19,254千円増加しました。主な増加要因は、未払消費税等の増加(同46,056千円増)であります。主な減少要因は、未払金の減少(同34,844千円減)であります。固定負債は31,974千円となり、前連結会計年度末に比べて15千円増加しました。以上の結果、総負債は797,857千円(同19,269千円増)となりました。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は4,488,569千円となり、前連結会計年度末に比べて197,220千円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する中間純利益計上による利益剰余金の増加(同126,335千円増)によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べて225,551千円増の4,369,787千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、412,698千円となりました(前年同期は241,788千円の収入)。主な要因は、税金等調整前中間純利益586,438千円の計上、法人税等の支払額200,381千円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、1,249千円となりました(前年同期は285,593千円の支出)。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,250千円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、185,897千円となりました(前年同期に獲得及び支出した資金は、ありません)。主な要因は、配当金の支払額239,417千円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2023年5月12日の「2023年3月期決算説明資料」に公表しました業績予想より修正はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,194,297	4,419,850
売掛金	171,524	165,155
棚卸資産	—	※1 13,622
前払費用	39,842	69,107
未収還付法人税等	1,932	—
その他	11,858	24,745
貸倒引当金	△8,272	△8,080
流動資産合計	4,411,183	4,684,400
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	54,832	51,075
工具、器具及び備品(純額)	13,119	12,934
有形固定資産合計	67,951	64,010
無形固定資産		
のれん	215,618	194,740
顧客関連資産	103,197	93,527
ソフトウェア	22,655	18,527
無形固定資産合計	341,470	306,795
投資その他の資産		
投資有価証券	15,141	14,273
出資金	300	300
敷金及び保証金	106,470	106,470
繰延税金資産	115,881	106,358
その他	11,538	3,819
投資その他の資産合計	249,331	231,221
固定資産合計	658,753	602,027
資産合計	5,069,936	5,286,427

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,324	15,417
未払金	82,060	47,215
未払費用	59,578	51,607
未払法人税等	216,811	197,887
未払消費税等	32,051	78,108
契約負債	309,349	332,944
預り金	18,453	42,059
その他	—	643
流動負債合計	746,629	765,883
固定負債		
資産除去債務	31,958	31,974
固定負債合計	31,958	31,974
負債合計	778,587	797,857
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	535,051	562,011
資本剰余金	523,665	550,078
利益剰余金	3,338,996	3,465,332
自己株式	△108,230	△89,630
株主資本合計	4,289,482	4,487,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,379	777
その他の包括利益累計額合計	1,379	777
新株予約権	486	—
純資産合計	4,291,348	4,488,569
負債純資産合計	5,069,936	5,286,427

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,741,042	1,967,169
売上原価	288,830	317,228
売上総利益	1,452,211	1,649,940
販売費及び一般管理費	※1 981,066	※1 1,063,981
営業利益	471,145	585,959
営業外収益		
受取利息	19	351
受取配当金	6	6
受取和解金	—	1,500
その他	—	35
営業外収益合計	25	1,892
営業外費用		
和解金	900	1,500
為替差損	201	—
営業外費用合計	1,101	1,500
経常利益	470,069	586,352
特別利益		
新株予約権戻入益	—	86
特別利益合計	—	86
税金等調整前中間純利益	470,069	586,438
法人税、住民税及び事業税	141,785	182,271
法人税等調整額	6,289	9,788
法人税等合計	148,075	192,059
中間純利益	321,994	394,378
親会社株主に帰属する中間純利益	321,994	394,378



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	321,994	394,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,253	△602
その他の包括利益合計	1,253	△602
中間包括利益	323,247	393,776
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	323,247	393,776
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	470,069	586,438
減価償却費	2,954	9,319
のれん償却額	14,993	20,878
顧客関連資産償却額	6,898	9,669
株式報酬費用	9,136	2,256
貸倒引当金の増減額(△は減少)	703	△191
受取利息及び受取配当金	△25	△357
受取和解金	—	△1,500
為替差損益(△は益)	201	—
和解金	900	1,500
売上債権の増減額(△は増加)	△8,629	6,369
棚卸資産の増減額(△は増加)	—	△19,617
前払費用の増減額(△は増加)	△13,992	△13,468
未収還付法人税等の増減額(△は増加)	—	1,932
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,756	△12,906
契約負債の増減額(△は減少)	36,286	23,594
未払金の増減額(△は減少)	△8,731	△35,259
未払費用の増減額(△は減少)	2,782	△7,971
未払消費税等の増減額(△は減少)	△69,825	46,056
その他	△5,909	△4,018
小計	421,054	612,722
利息及び配当金の受取額	25	357
和解金の受取額	—	1,500
和解金の支払額	△900	△1,500
法人税等の支払額	△178,391	△200,381
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>241,788</b>	<b>412,698</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△50,062	△50,062
定期預金の払戻による収入	50,061	50,062
有形固定資産の取得による支出	△564	△1,250
敷金及び保証金の差入による支出	△34,963	—
事業譲受による支出	△250,064	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△285,593</b>	<b>△1,249</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	53,520
配当金の支払額	—	△239,417
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>—</b>	<b>△185,897</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△43,804	225,551
現金及び現金同等物の期首残高	3,883,507	4,144,235
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,839,702	4,369,787

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当中間連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結累計期間の末日となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株あたり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月25日 定時株主総会	普通株式	268,042	10	2024年3月31日	2024年6月26日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には設立20周年を記念した記念配当5円が含まれております。

2. 基準日が当中間連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結累計期間の末日となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表関係)

※1 棚卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
商品	-千円	4,298千円
仕掛品	- "	9,324 "

(中間連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
給与及び手当	407,762千円	489,479千円
貸倒引当金繰入額	3,836 "	6,690 "

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金	3,889,764千円	4,419,850千円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金	△50,062 "	△50,062 "
現金及び現金同等物	3,839,702千円	4,369,787千円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラット フォーム 事業	M&A仲介 事業	計		
売上高					
広告及び関連サービス(注4)	1,270,089	—	1,270,089	—	1,270,089
マーケティング(注5)	32,078	—	32,078	—	32,078
成功報酬(注6)	96,952	73,421	170,373	—	170,373
その他(注7)	258,331	10,169	268,501	—	268,501
顧客との契約から生じる収益	1,657,451	83,590	1,741,042	—	1,741,042
外部顧客への売上高	1,657,451	83,590	1,741,042	—	1,741,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,657,451	83,590	1,741,042	—	1,741,042
セグメント利益又は損失	482,749	△12,244	470,505	640	471,145
その他項目					
減価償却費(注3)	9,822	29	9,852	—	9,852
のれんの償却額(注3)	14,380	612	14,993	—	14,993

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店ドットコム」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店ドットコム」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&amp;A仲介事業であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、「メディアプラットフォーム事業」セグメントにおいて、シェルフィー株式会社より事業譲受を受けております。当該事象によるのれんの発生額は、172,570千円であります。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

### 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラット フォーム 事業	M&A仲介 事業	計		
売上高					
広告及び関連サービス(注4)	1,372,270	—	1,372,270	—	1,372,270
マーケティング(注5)	31,684	—	31,684	—	31,684
成功報酬(注6)	128,521	161,973	290,495	△6	290,489
その他(注7)	256,545	16,179	272,724	—	272,724
顧客との契約から生じる収益	1,789,022	178,153	1,967,175	△6	1,967,169
外部顧客への売上高	1,789,022	178,147	1,967,169	—	1,967,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6	6	△6	—
計	1,789,022	178,153	1,967,175	△6	1,967,169
セグメント利益又は損失	524,696	53,302	577,999	7,960	585,959
その他項目					
減価償却費(注3)	18,600	388	18,988	—	18,988
のれんの償却額(注3)	19,959	918	20,878	—	20,878

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店ドットコム」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店ドットコム」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&A仲介事業であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入であります。

### 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年1月31日に行われた株式会社Life Labからの事業譲受について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当中間連結会計期間に確定しております。これにより、「メディアプラットフォーム事業」セグメントにおけるのれんの金額が減少しております。

なお、詳細については、注記事項(企業結合等関係)に記載の通りであります。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

2024年1月31日に行われた株式会社Life Labからの事業譲受について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当中間連結会計期間の中間連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、顧客関連資産35,600千円、繰延税金負債10,900千円を新たに識別し、顧客関連資産は6年から7年にわたって均等償却しております。暫定的に算出されたのれんの金額91,644千円は会計処理の確定により24,699千円減少し、66,944千円となりました。なお、のれんの償却年数に変更はありません。

また、前連結会計年度末ののれんは、23,670千円減少し、顧客関連資産は34,214千円増加し、繰延税金資産は11,325千円減少しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。